

果実の胎座部が小さいので、果実の水分含量が低くカット利用に最適！

24-HT024 RZ

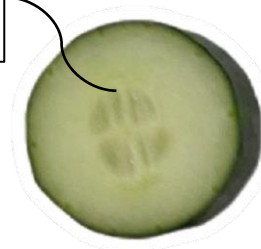
【特性】

- ・胎座部が小さい(Small Cavityタイプ)、業務加工向きのロングキュウリ品種。
- ・オランダで開発された多収性品種であるため、養液栽培でハイワイヤー栽培での主枝1本つる下ろしに最適。
- ・主枝雌花率は100%、ハウス栽培で周年栽培可能。
- ・果重は250g、果長は30cm前後、果皮は少しリブが入るがイボがなく、つるっとしている。
- ・ウドンコ病の耐病性を持つ。
- ・同タイプのコンサピーノよりも、胎座部が小さいという形質が安定し、果実サイズが大きくなっても、胎座部は小さく維持する。

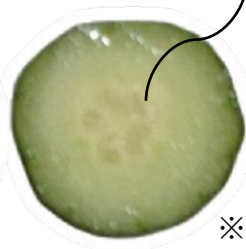
【栽培の要点】

- ・側枝も発生するが、主枝1本に着果させていくことで草勢と着果が安定するため、仕立て本数は1本以上にしない方が望ましい。
- ・一果重が重く、着果負担がかかるため、連続着果は避ける必要がある。着果している次の1節分は摘果を実施し、果実肥大を促す。

コンサピーノ RZ
(Small Cavityプロトタイプ)



24-HT024 RZ



※いずれも250gの果実で比較



TAKADA
SEED
高田種苗

高田種苗株式会社

大阪府大阪市北区天神橋8-3-10

TEL: (06)-6353-0551

FAX: (06)-6357-1938